

情報部会 部会記録

令和3年11月4日(木)13:30～

オンラインでの開催

1 開会の挨拶

中崎 圭子 部会長 (新湊)

2 研究発表

「本校の現状を踏まえた情報科の授業展開」

田原 悦史 (富山西)

生徒の実態や進路希望、教職員の持ち時間を踏まえた座学1単位+実習1単位という授業の持ち方が紹介された。併せて、新教育課程移行に際しての課題が報告された。

3 各学校の授業展開についての情報交換

(1)「砺波高校での情報の授業とプログラミング」

東海 直樹 (砺波)

砺波高校における情報科教育の状況やプログラミング教材の使用感、有用な教材やWebサイトなど、多くの情報が提供された。

(2)「学習用LANの現状と問題点」

織田 樹郎 (大門)

一人一台端末が属する学習用LANの問題点をあげ、教育用クラウドとの組み合わせを含めた活用時の工夫が紹介された。

4 指導助言

牧田 洋一郎 指導主事

授業を1単位ずつに分割し、2人で担当するという方法が、新学習指導要領「情報I」の場

合は適切かどうか検討が必要ではないか。年間指導計画作成の段階で確認していただきたい。

情報交換では、プログラミング言語とプログラミング教育について砺波高校の事例を紹介いただき、生徒に合った教材を選んでいることや指導の体制ができていることを改めて認識できた。質疑の際に紹介があった言語を含めて、各学校の実情に合ったものを確認しつつ進めていくことが必要になってくると考えている。教育用クラウドの利用については、学校の中で意思統一をした上で積極的に使っていただきたい。

指導計画の立案に際し、大学入学共通テスト対応も必要だが、教科の目標に沿ったものになっているか十分注意してもらいたい。

5 講演

「大学入学共通テストを意識した『情報I』の指導にむけた準備」

工学院大学附属中学校・高等学校 校長

中野 由章 氏

新学習指導要領と評価、大学入学共通テストで注目を集めている「情報I」に必要となるプログラミング教育のための情報や、数学科や公民科、家庭科などとの教科を越えた連携について話された。更に、工学院大学附属高校を例に「情報I」の開講学年と教科間連携について具体的に説明いただいた。

6 閉会の挨拶

長島 伸 副部会長 (高岡南)